



今年の夏はコロナ禍の中、追い打ちをかける様に大雨に猛暑にと大変な思いをする夏でした。まだまだ“新型コロナウイルス”の言葉を聞かない日はありません。私は去年の今頃、ランチに飲み会、夏には花火大会、流れるプールにと当たり前に楽しんでいました。それが今は一変し、出来ない事に…。「今まで当たり前と思っていた事が当たり前ではなかったんだ」と強く気付かされました。仕事が出来ない事、学校に行ける事、今まで普通に出れていた事が実はすごく有り難い事でした。私は今も変わらず訪問入浴の仕事ができ、お風呂に入って頂き、みなさまとお会いできる。すごく幸せな事です。新型コロナウイルスで奪われた物もありますが、大切な事を気付かされたのも事実です。以前と変わらない日常に戻っても今の気持ちを忘れずに、感謝しながら過ごしていきたいと思っています。今から来る季節も十分に体調管理に努め、ウイルスをぶっ飛ばすくらい強い気持ちと明るい気持ちで乗り越えて行きたいです。

訪問入浴部門

介護福祉士 高山 文美

～ 居住部門の
新型コロナウイルス
感染予防対策 ～

居住者さんが一堂に集まるふじの郷自治会も、広いホールで短時間に。今年のお誕生日プレゼントは職員手作りのマスクです。玄関にはサーモメーターを設置して、来訪者に体温をチェックしていただいています。ウィズコロナを乗り切ります！

居住部門

事務長 齋藤 智子

こんにちは！

今回の秋号は下川が担当します。私も5?歳になり体の衰えを感じるようになってきました。何にもないのに踵いたり、食事中などにせき込んでしまったり、足が痛い、腰が痛い等々。よく、母が「目が薄くなってきた」なあ～なんて言ってましたが、今、ようやく意味が分かってきました。日常生活で一番怖いのは自宅での転倒です。3年前の夏に私の母も布団の上で転び肋骨を骨折してしまいました。2年前は、私の姉もあと1段というところで階段より滑り落ち右足の小指を骨折しました。こんな感じで、高齢者の（姉はまだ60歳前ですが）5割が自宅で転倒や階段・電気コード・室内のじゅうたん・玄関マットなど。特にお風呂などは危険がいっぱいです。浴室はすべりやすく転倒事故が起りやすい場所となっています。このような事故が起きないよう安全な住環境作りをお手伝いしながら、これからも安心して生活が過ごしていけるよう支援をして参りたいと思っています。

居宅部門

介護支援専門員
下川 陽子普通の
体温です？Social
distancePeace begins with
a smile私が
古賀です

こんにちは。初めまして。4月からふじの郷のスタッフの一員となりました看護師の古賀京子と申します。

今までは病院での勤務をしており、毎日

患者さんの状態が変化していく中で日々忙しい業務に追われる毎日でした。合間の時間を見つけては患者さんとの時間を大切にしていたのですが、一人一人とゆっくり関われる時間もとれなかったこともあり、福祉の世界への転職を決めました。福祉の世界は初めてで不安でいっぱいだったのですが、初日からスタッフや利用者の皆さんが笑顔で優しく接して下さり、とても楽しく仕事が出来ています。私は笑顔を絶やさず利用者さんの小さな変化にも気づくことができ、利用者さんに寄り添った看護を行える看護師になることを目指して日々精進していきます。私の趣味はスポーツをすることです。幼稚園の頃からソフトテニスと水泳を習っており、身体を動かすことが大好きです。デイサービスでも皆さんと一緒に機能訓練などで身体を動かし機能の維持・向上に努め、笑顔で楽しい一日を過ごして頂けるように頑張ります。これからよろしくお願い致します。

看護師 古賀 京子

デイサービス
部門マスクの下は
こんな笑顔😊です！

コロナ禍となりマスク着用が必須となってご利用者様からは「どんな表情をしているのか分からない」「笑顔が見られなくて寂しい」等の言葉をたくさんいただきました。感染拡大防止の観点からマスクは外せませんがマスクの下はいつもこんな笑顔😊で頑張っています！一日も早くマスクが外せて皆んなで笑い合える日が来ることを願って…

Smile!

